

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ  
A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

黄色塗り部分は決算報告時に記載  
(配付申請時は記載不要)

【様式1】

## 令和5年度 校長経営戦略支援予算【学校配付】配付申請書

(校園コード  )

※校園コードを必ず入力してください。

学校名

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

取組に対する評価状況

1 配付額  円 → 決算額

2 配付上限額

学校配当		学級数		特別支援学級数		学級配当
<input type="text" value="350,000"/>	+	<input type="text" value="7学級"/>	+	<input type="text" value="5学級"/>	×	<input type="text" value="29,000"/>
※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。						
配付上限額						
=	<input type="text" value="698,000"/>					

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

＜学校の年度目標＞

●地域連携の取組や多様な体験学習により、児童の好奇心・探求心を育み、魅力ある学校づくりを推進する。

目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

●学校・生徒の実情・実態に即した教育実践の展開に向け校長経営戦略支援予算等を適切に執行する。

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

①校内調査「学校教育目標や運営に関する計画を理解し、その実現のため、主体的に行動している」に肯定的な回答をする教職員の割合を80%以上にする。

②校内調査「学校へ行くことが楽しいですか」に肯定的な回答をする生徒の割合を82%以上にする。

指標に対する達成状況(取組完了時)

達成

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

コロナ禍で様々な取組が制限され、学力の基礎・基本の定着を図りながら、生徒の自己肯定感を高め、非認知能力を高める取り組みを行う必要がある。そのため、研修の充実や企業等と連携した取組を予定した。チーム学校として「教職員の主体的行動」「生徒の自己有用感」を指標に設定することで、居心地の良い学校としての関心度合いを定量的に図ることとした。

【裏面に続く⇒】

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【基本的な方向番号、名称】 【基本的な方向3 学びを支える教育環境の充実】 ・体験学習、キャリア学習、学校行事の実施		委員会使用欄	達成
①予算内訳			
07-1 報奨金(キャリア学習講師謝礼) @7,100×10時間= 71,000円 小計 71,000円			
10-1 消耗品費(ワイヤレス送信機) @40,000× 1台= 40,000円			
10-1 消耗品費(ホワイトボード) @1,600× 10枚= 16,000円 小計 56,000円			
17-2 校用器具費(プロジェクター) @95,500× 2台=191,000円			
17-2 校用器具費(ひな壇) 380,000円 小計 571,000円			
合計 698,000円			
②決算内訳			
(2)取組内容【基本的な方向番号、名称】		委員会使用欄	達成
①予算内訳			
②決算内訳			

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。  
 委員会使用欄は空欄としてください。